

様式第2（第9条関係）

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和6年 10月23日

犬 山 市 議 会

議 長 柴 田 浩 行 様

議員名 鈴木 伸太郎

下記のとおり、展示会の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和6年 10月 9日(水)
(2) 場 所	幕張メッセ
(3) 形 態	会派 () : その他 (鈴木のみ)
(4) 内 容	① 自治体情報化フェア ② 農業WEEK 報告書別紙
(5) 成果・提言	報告書別紙



出張報告書 令和6年 10月9日(水) 千葉市 幕張メッセ

①展示会「自治体情報化フェア」

②展示会「農業 WEEK」

① 自治体情報化フェア

毎年開催されているITと自治体をつなぐ展示会。民間に比べるとまだまだ進んでいない自治体のIT施策、職員の皆さんも思うところはあることは承知しつつも、業務効率化、コストダウンをチェックすることが求められる議員の立場上、新しい情報を得、提案していく義務があるため、今回もさまざまな情報収集を行った。

・まちだん

議会と市民を繋ぐアプリ、市民の声を拾い上げる、議会側からの情報発信、主権者教育、意見交換会などを実施できる。すでに宮崎市、四日市市が導入、先日の総務委員会でも提案、今後事業者によるデモ等を実施予定。

・会計業務のペーパーレス化

以前から提案しているインフォマート社のサービス。まだ実現していないのが残念だが、引き続き提案していく。

・マイナンバーカードを利用したサービス各種

全体的に、マイナンバーカードを利用した新しいサービスの提案が多かった。その中で、ポケットサイン社のアプリは住民データを把握した上での自治体に併せたサービス提供が可能。効率的。

・公共施設予約サービス

スマホですべての施設の予約ができればいいが、高齢者などへの対応がどうなるか？

・生成AI各種

行政の分野にも生成AIの大きな波が押し寄せていることを実感。定型的な業務であれば、利用すべき。

・防災アプリ各種

トレンドとして、やはり防災関連は多い。犬山での最適はどれかを見極める眼力養成が必要。

・郵便の定額小為替のペーパーレス化

富士フィルムが開発したシステム。全国の金融機関等から依頼のある住民票や戸籍の発行に伴う、定額小為替を現金化する煩雑な作業を無くす。犬山市は池野出張所で郵便局業務を行っており、そこで換金する際の手数料が貴重な財源なので見送るとのこと。果たしてどちらが効率的か？

・e-Stat

総務省統計局によるデータの提供。これを使いこなせるよう、私自身

の学びが必要。

○犬山市への提言

市民と行政窓口との間の IT 化は目に見えるので、変化について気づきやすいし提案もしやすい。それに加えて掘り下げるべきは内部の IT 化。業務効率化だけでなく、内部統制全般の視点で見れば、もっと進めるべきだが、遅いように感じる。職員の努力を後押しできるような改善提案をどんどんしていく。

② 農業 WEEK

議会内で唯一人の販売農家である身として、犬山の農業のこれからを農業者の視点で見つめ、提案してきた。農業経験が少ない職員にとっては、なかなか難しい投げかけも多く、ご苦勞を掛けているのは承知の上だが、現場の農業者としての実践を通して感じることに、大きな間違いはないと自負している。大規模な農業関連の展示会であり、BtoB の場であるが、小規模農家が圧倒的な犬山の農業を継続させていくには、どのようなスタイルがあるのかを研究した。

・ EF ポリマー

インド発の製品、保水性に優れたポリマー、畑の利用で散水の負担を軽減できる。生分解性物質でありオーガニックにも対応。犬山の畑はかんがい施設がなく、これが大きなネック。このポリマーは、犬山の畑果樹栽培を変える可能性がある。

・ 畝間小型除草機

除草問題は小規模農家の一番の負担だと思う。この製品は農家の負担を大幅に軽減させる。

・ もみ殻コイル

くん炭生産機。農家の収入を増やすには手っ取り早い。いろいろな手法で農家の意欲を増進させる取り組みにより。

・ 農機のシェアシステム

農業を始める人向けには良いサービス。犬山近辺での取扱店が増えると良い。

・ 穀物粉碎機他

家庭用の粉碎機、餅つき機、など、小規模で 6 次化目指す製品がいくつかあった。市内外の方から、新規就農の相談を受けることがある。このような製品があることは知っておく必要がある。

・ 鳥害対策

今回はイノシシ害への対応製品は少なく、カラス対策がいくつかあった。ごみ集積所の課題も含め、カラス対策は提案していきたい。

○犬山市への提言

小規模農家に耕作の継続意欲を維持してもらうには、新しい技術の導入、販路の確保、作業負担の軽減の対応が望まれる。上記の各アイテムはそれら課題をクリアできる可能性を十分に持っている。行政として、このような製品を農家に提供するのは難しいし、補助金をつけていくのも無理があるのは承知。しかし、市役所からも、このような新しい技術の紹介を生産者にさせていただくことで、地域全体が農産物生産に自信を持ち、活気が沸き起こるよう、私からも提案していく。

以上